



# 営農ウィークリーNEWS

## 2024年産米検査始まる！！

9月13日に、JA管内で今年度初めての米検査が旧大原支店前で行われました。高温の影響か、背白粒、乳白粒などの高温障害の被害粒があり、斑点米カメムシ類も若干見受けられました。検査に出された品種はコシヒカリで、検査数量1,260kg、2等95.2%、3等4.8%でした。これらの米は、主に農産物直売所「里の駅大原」で販売されます。



### —TAC information—

### 京おくら出荷部会 現地検討会開催



9月11日（水）に京都乙訓農業改良普及センターにて京おくら品種比較試験の現地検討会が開催されました。種苗メーカーも参加され、品種別の生育の違いや特徴の説明を受けました。京都府農林技術センターからも亀岡試験場で行われている京おくら試験の情報提供があり、京おくらの栽培方法について議論が交わされました。



## 農 産 物 鑑 定 実 習 開 催

西南部経済センターにて、2024年産米検査に向けた農産物鑑定実習が開催されました。農産物検査員を対象に、うるち米20点、もち米5点、醸造用米5点の等級鑑定を行った他、5種類の品種鑑定を実施し、検査精度向上を図りました。契約米の検査は、9月30日より開始されます。



## 種 も み 採 種 圃 の 1 次 審 査 会 実 施

9月13日、京都乙訓農業改良普及センター、JA京都中央の担当者により水稻種もみ採種圃の第1次審査会が行われました。品種はヒノヒカリで、莖数も確保でき、穂の状況も問題がなく、全体として良好な状況でした。引き続き、良種子の確保のため圃場調査を続けていきます。

